

2019年度連結決算について

(注1) 2019年4月1日に、東京電力フュエル&パワー株式会社および中部電力株式会社の既存火力発電事業等を当社に統合いたしました。この統合の結果、2019年度連結決算の値は、従前より大きく変動しております。

(注2) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。

2020年5月27日
株式会社JERA

連結損益計算書

(億円)

	2019年度(A)	2018年度(B)	増減(A-B)	増減率(%)
営業収益 (売上高)	32,800	27,807	4,992	18.0
営業利益	1,670	52	1,617	3,078.9
経常利益	1,744	341	1,402	410.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,685	225	1,459	645.8

連結貸借対照表

(億円)

	2019年度(A)	2018年度(B)	増減(A-B)	増減率(%)
資産	40,353	12,574	27,778	220.9
負債	24,340	6,443	17,897	277.8
純資産	16,012	6,131	9,880	161.1
有利子負債残高	15,059	3,578	11,481	320.9
自己資本比率(%)	38.2	45.0	▲6.8	

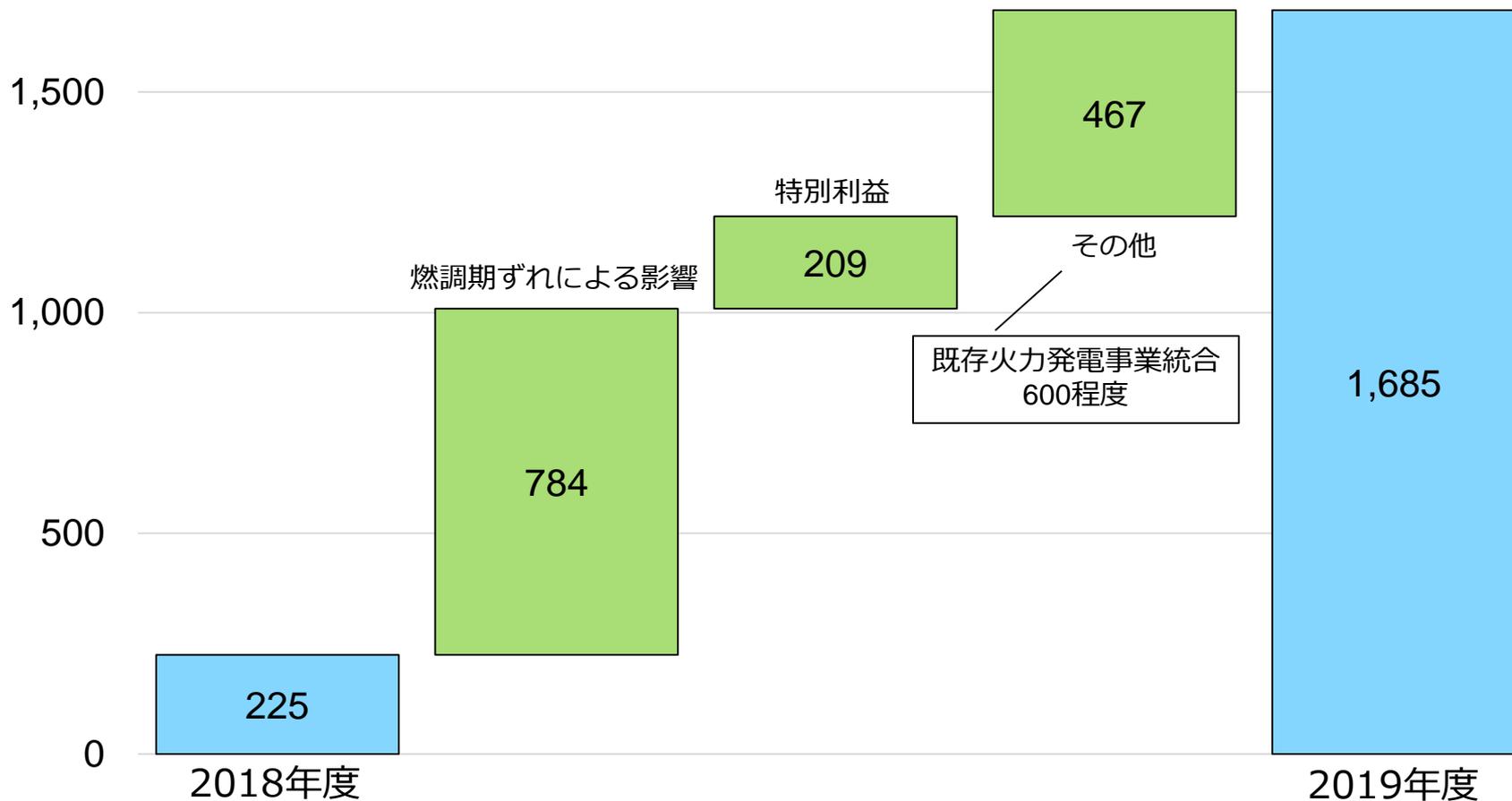
決算ポイント

■ 2019年度決算のポイント

- 連結売上高は、既存火力発電事業等の統合などにより、前年同期比18.0%増の3兆2,800億円。
- 経常利益は、燃料費調整の期ずれ差益などにより、前年同期比410.8%増の1,744億円。
- 純利益は、燃料費調整の期ずれ差益に加え、海外発電案件の売却に伴う特別利益が発生したことなどにより、前年同期比645.8%増の1,685億円。

【連結純利益の変動要因】

(億円)



※金額は税引後

連結収支比較表

(億円)

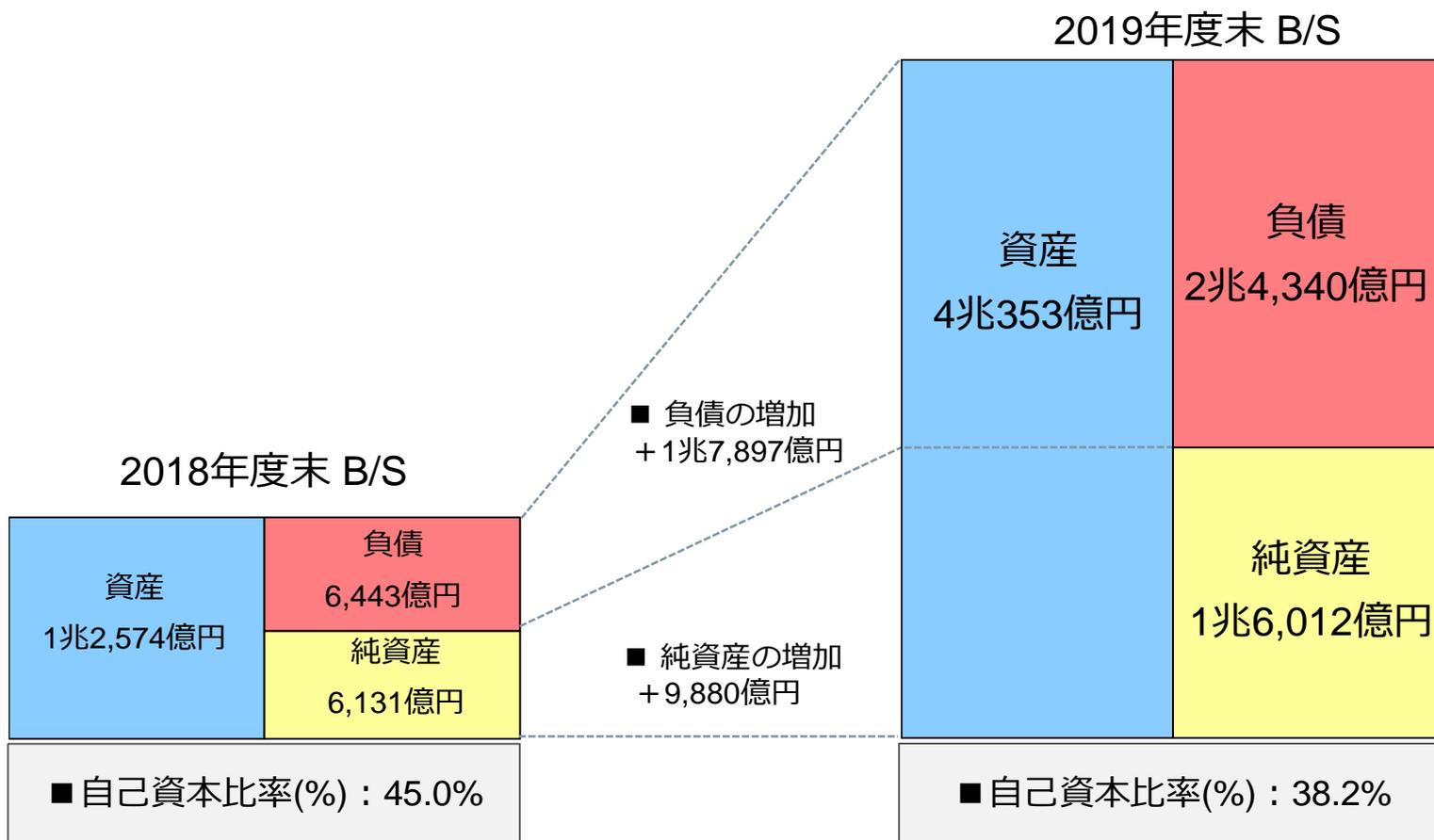
	2019年度(A)	2018年度(B)	増減(A-B)	主な増減要因
営業収益 (売上高)	32,800	27,807	4,992	・ 既存火力発電事業等の統合
営業費用	31,129	27,754	3,375	・ 既存火力発電事業等の統合
営業利益	1,670	52	1,617	・ 燃調期ずれ差益
営業外収益	311	348	▲37	
営業外費用	237	59	177	・ 支払利息の増
経常利益	1,744	341	1,402	
特別利益	209	-	209	・ 海外発電案件の売却益
法人税等	142	64	78	
非支配株主利益	125	51	74	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,685	225	1,459	

	2019年度
販売電力量 (億kWh)	2,657

	2019年度(A)	2018年度(B)	増減(A-B)
原油価格(JCC) (\$/b)	67.8	72.2	▲4.4
為替レート (円/\$)	108.7	110.9	▲2.2

連結財政状態

- 資産残高は、統合に伴う有形固定資産の増加などにより+2兆7,778億円
- 負債残高は、統合に伴う有利子負債の増加などにより+1兆7,897億円
- 純資産残高は、資本剰余金および利益剰余金の増加などにより+9,880億円



格付取得状況

【格付取得状況（長期発行体格付け）】

S&P	R&I	JCR
A-	A+	AA-

連結キャッシュ・フロー

(億円)

		2019年度
営業キャッシュ・フロー		5,516
投資キャッシュ・フロー	固定資産の取得	▲2,111
	投資有価証券の取得	▲1,157
	その他	161
		▲3,108
フリー・キャッシュ・フロー		2,408
財務キャッシュ・フロー	借入金の増減額	▲4,522
	その他	2
		▲4,520
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）※		1,328

※吸収分割に伴う現金及び現金同等物の増加額3,350億円および連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額117億円を含む

セグメント情報

(億円)

		燃料事業※	海外発電事業	国内火力・ガス事業	調整額	連結財務諸表計上額
2019年度	売上高	8,647	21	29,267	▲5,136	32,800
	セグメント利益 (純利益)	306	361	1,302	▲284	1,685

※燃料上流・輸送・燃料トレーディング

燃調期ずれによる影響
784

統合によるシナジー効果

- 統合後5年以内に1,000億円以上/年のシナジー効果を創出することを目標として事業を展開
- 国内火力におけるコスト競争力の強化ならびに新たな収益源創出により、初年度である2019年度は250億円の統合シナジー効果を創出

【統合によるシナジー効果】			2019年度実績
国内火力 における コスト競争 力の強化	メンテナンス費用の 減	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 定期点検、修繕及び資材調達におけるベストプラクティスの展開 ✓ 資材調達及び委託におけるスケールメリットの活用 ✓ 最先端の手法の開発及び運用 	150億円
	オペレーション費用 の減	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 燃料調達及び発電所等運営におけるベストプラクティスの展開 ✓ 最先端の手法の開発及び運用 	
新たな 収益源の 創出	バリューチェーン全 体の最適化による 収益	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中部電力で培ったトレーディングノウハウと、東京電力の事業開発ノウハウをもとに、EDFTとのグローバルトレーディング事業を開発 ✓ 世界有数の燃料取扱量を梃子とした、巨大なアセットバクトレーディングの実現 	100億円
	事業ポートフォリオ の拡大による収益	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Step3統合により世界有数のエネルギー企業体となったことによるブレイクスルー強化を活用した案件開発 ✓ 上流及び下流事業とのパッケージでの案件開発 ✓ 両社の競争力ある国内サイト及び資金調達力を活用 	
※金額は税引前			250億円